

2021年度 学校関係者評価報告書

学校法人聖心学園 聖心学園幼稚園

1、本園の教育目標

カトリックの「愛の精神」を基本に、優しい心・思いやりの心・感謝する心を大切にする

具体的目標

- ・落ち着いて考える子ども
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども
- ・粘り強くやり抜く子ども

2、本年度重点的に取り組む目標・計画

①健康で豊かな生活の基礎作り

- ・挨拶を進んで行き、気持ちの良い生活習慣や態度を身につける
- ・清潔、安全な行動を意識し、習慣化する
- ・身の回りの物事に感謝することで、充実した生活を送る。

②聞く力・話す力の育成

- ・姿勢を整え、落ち着いて話を聞く習慣を身に着ける。また、自分の思いを言葉で伝える。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	感謝の言葉や日常の挨拶が自然に交わされる環境	・あたりまえと思われる出来事に目を向け、一つひとつに感謝の気持ちを向けるよう声をかけあった。園児・保護者・職員間で「ありがとう」を日常の言葉として使う環境ができ始めた。
2	聞く力、話す力を伸ばす保育活動	・落ち着いて話を聞くために、保育室の環境を整えたり、具体的な姿勢について伝えた。 ・幼児とゆっくり接し、進んで話したくなる雰囲気を作った。
3	保育活動の周知	・写真の掲示や、クラスだより等で日頃の保育活動についてお知らせをした。 ・zoomを利用して、公開保育やクラスだよりの詳細説明（具体的なエピソード発表）を行った。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

重点目標と計画について、全教員が認識し、自己点検・自己評価に取り組むことで自ら保育を振り返るばかりではなく、様々な課題を見出すことができた。今後もより良い園経営のために継続して実施していくことを共通理解した。

5、今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境	活動を進めることを意識し過ぎず、先ず幼児が落ち着いて話を聞く環境をつくる。
2	保護者対応	保護者の思いに寄り添い、子育ての支援を行う。
3	教員の連携	行事の打ち合わせだけでなく、日頃のコミュニケーションを大切にし細かい相違が減るよう努める。

6、学校関係者評価委員会の評価

保護者への質問や要望に対する対応が丁寧で適切です。保護者の意見では、園や教員の先生方への感謝が溢れています。

教員の自己点検評価はポジティブで、良好な教育活動が行われています。これは、園長先生の人の和を重んじる運営と柔軟な指導力、教員の真摯な努力の賜物と思います。

学校関係者評価委員

松本 勲 武

園の取り組みについてコロナ禍の中、本当に大変だったと思います。

保護者の方と保育者自身の評価は、ある程度できている、満足という A,B 段階の評価が多くさされていましたので、保育者皆様の努力が、現されていると思いました。

また、保育者自身の評価の中で、気になりましたことは、①会議の在り方と②研修と研究です。

会議の在り方は、全員で発言するようにしたい。若手の発言が少ない。理解に温度差がある。という事でしたが異なる意見も聞く耳を持ち、話し合う事をする。解からないは、理解できるまで聞くことが大切だと思いました。

研修と研究は、あまり取り組んでいないとのことですが、コロナ禍において限られる事もありますが、資格を取得する、学ぶことは、今すぐ反映されないかもしれませんが、自身の身に着いたことは、自信にもつながり保育の場に活かせると思います。読書、園内研修の中でも、教えあう、話し合う機会がより良い保育に繋がっていくと思います。

子ども達の目標も「聞く力、話す力」でしたので、心に少し気に留めておくことも、大切だと思いました。

学校関係者評価委員

相馬 たま子

教師の自己評価、保護者からのアンケート共にきちんと集計し、分析している点、次年度の保育に生かすことができると感じました。また、保護者の疑問に丁寧に答えている点で保護者は安心して子どもを園に通わせることができると感じました。

学校関係者評価委員

松浦 菜子